●日本及びその周辺での主な地震活動

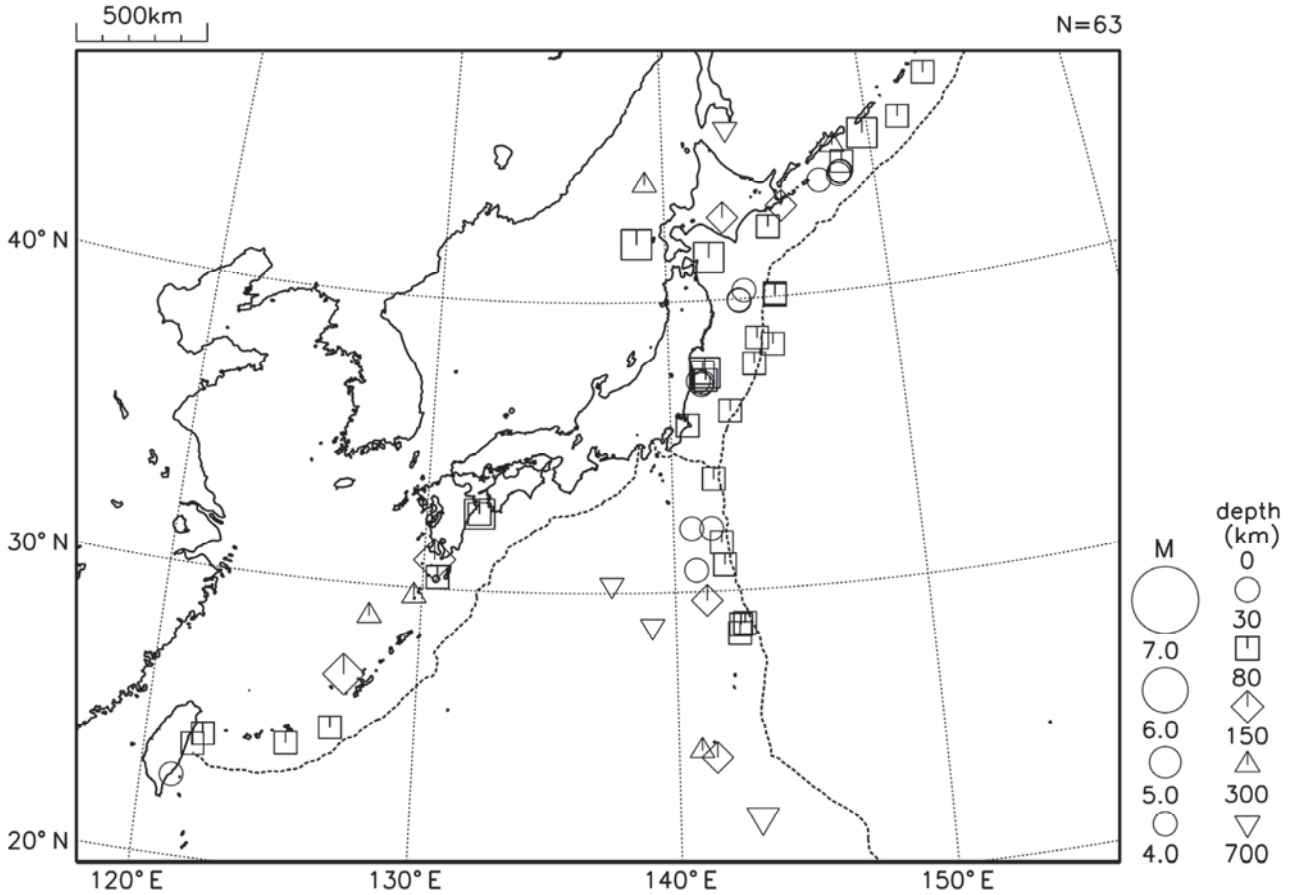

図１　平成 29 年３月に日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の震央分布図

平成 29 年（2017 年）３月に日本国内で震度４以上を観測した地震の回数は２回（２月は３回）、日本及びその周辺で発生した M4.0 以上の地震の回数は 63 回（２月は 82 回）であった。

３月中に発生した主な地震を表１（次ページ）に示す。３月中に震度５弱以上を観測した地震及び津波を観測した地震はなかった（２月は震度５弱以上を観測した地震は１回、津波を観測した地震はなかった）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の地震活動は、全体として引き続き減衰傾向がみられる。今回の一連の地震活動により、死者 225 人、負傷者 2,747 人、住家全壊 8,689 棟などの被害が発生した（平成 29 年３月 31 日現在、総務省消防庁による）。

表１ 平成 29 年３月に日本及びその周辺で発生した主な地震（注１）（注２）

No.	震源時 月　日　時　分	震央地名	M （注３）	Mw （注３）	M　H　S　T （注４）	最大震度・被害状況等（注５）	掲載 ページ
1	4/14～					**「平成28年（2016年）熊本地震」** 震度１以上を観測する地震が25回（震度３：１回、震度２：９回、震度１：15回）発生した。 **被害**：死者225人、負傷者2,747人、住家全壊8,689棟など （平成29年３月31日現在）	４、 15～16
2	３　２ 23　53	日向灘	5.3	5.2	・・Ｓ・	４：大分県　佐伯市鶴見＊ 宮崎県　延岡市天神小路 熊本県　熊本高森町高森＊　　など３県14地点	４、17
3	３　５ 10　18	千葉県北東部	4.7	4.8	・・・・	３：千葉県　横芝光町宮川＊　横芝光町栗山＊	４、12
4	３　８　１　８	青森県東方沖	5.2	5.7	・・・・	３：青森県　階上町道仏＊　東通村砂子又沢内＊ 北海道　函館市泊町＊	４、９
5	３ 12　３ 48	種子島近海 （注６）	5.1	5.3	・・・・	３：鹿児島県　錦江町田代支所＊　　など１県４地点	５、18
6	３ 12　４ 57	福島県沖	5.4	5.3	・・Ｓ・	４：福島県　田村市都路町＊　浪江町幾世橋	５、10
7	３ 14 12 56	日高地方西部	4.7	4.7	・・・・	３：北海道　安平町早来北進＊	５、７
8	３ 25　１ 43	沖縄本島近海	5.1	5.1	・・・・	３：沖縄県　西原町与那城＊　など１県32地点	５、20

（注１）主な地震とは、図１の領域内で発生した①M6.0 以上、②震度４以上、③内陸 M4.5 以上かつ震度３、④海域 M5.0 以上かつ震度３、⑤その他注目した地震を指す。
（注２）震源時、震央地名、マグニチュードは再調査後、修正することがある。
（注３）Ｍｗ欄の「―」はＭｗが求められていないことを示す。また、空欄については、複数の地震による活動のため、記載していない。
（注４）ＭＨＳＴの各項目について、M:M6.0 以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度４以上を観測した地震、T:津波を観測した地震、として該当項目にそれぞれの記号を記した。
（注５）最大震度の観測点名にある＊印は地方公共団体もしくは国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点であることを表す。被害状況について出典の記載がないものは総務省消防庁による。
（注６）情報発表に用いた震央地名は「薩摩半島西方沖」である。

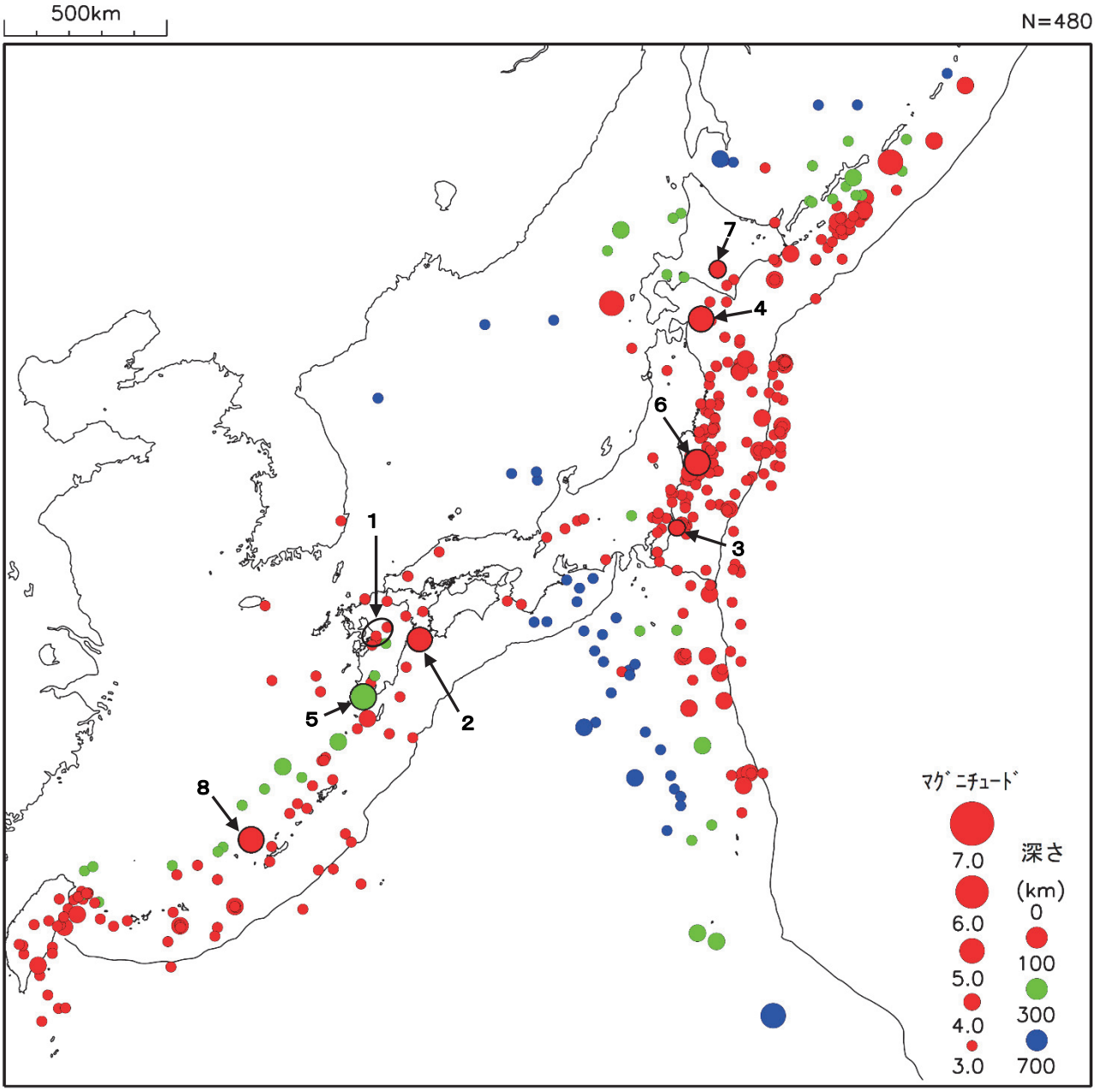

図２　平成 29 年３月に日本及びその周辺で発生した M3.0 以上の地震の震央分布図
（図中の数字は表１の番号に対応）